

第3回京田辺市総合計画審議会 議事録（要旨）

会議名	第3回京田辺市総合計画審議会
日 時	平成30年11月29日（木）午後2時から3時15分まで
場 所	京田辺市庁舎5階 議会全員協議会室
内 容	1 開 会 2 会長あいさつ 3 まちづくり市民ワークショップの結果（概要）の報告 4 基本構想（骨子）（目指すまちの姿、将来人口、将来都市構造）の確認 5 基本構想（基本姿勢・基本方向）の検討 6 副市長あいさつ 7 閉 会
出席者	【委員】 谷口会長、野田副会長、米田委員、中山委員、青木委員、足立委員、倉橋委員、潮委員、白川委員、鈴木（逸）委員、寺西委員、中川委員、畠山委員、藤田委員、柳田委員、山本委員、河内委員、多富委員、有坂委員、宮寄委員 【市側】 鞍掛副市長、西川理事、礒谷公営企業管理者職務代理者（上下水道部長）、越後危機管理監、西川こども政策監、村上総務部長、村田市民部長、長田健康福祉部長、古川建設部長、瀬野建設部技監、森田経済環境部長、白井教育部長、脇本教育指導監、井辻消防長、池田企画政策部副部長 他

1 開 会

事務局から開会にあたっての説明

2 会長あいさつ

皆さん、改めましてこんにちは。今日もお忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。

前回は総合計画の基本構想の骨子を確認、ご議論いただいたのですが、今日は基本構想の基本姿勢と基本的な方向のご検討をいただきたいということで進めてまいりたいと思います。

目標として3時半ぐらいを終了として進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、早速ですが、議事に入らせていただきたいと思います。

3 まちづくり市民ワークショップの結果（概要）の報告

【会長】 それでは本日の議題はそこにありますように、まず3番目のまちづくり市民ワークショップの結果の報告ということ、それから前回のおさらいということになりますが、基本構想

(骨子)の確認、それから今日の中心的な議論になると思いますが、基本構想の中の基本姿勢、基本方向の検討ということで順次審議いただきたいと思います。

それでは、まずワークショップについて、事務局から説明をお願いします。

<事務局資料説明>

- ・資料1 まちづくり市民ワークショップの結果(概要)の報告

【会長】 副会長から何か補足がありましたらどうぞ。

【副会長】 私も参加させていただいて、ファシリテーターという役割ではあったのですが、本場に多くの方がざくばらんに、職員の方も含め、同じ目線でいろいろな議論をされていて、非常に皆さんよくしゃべられるような環境で、たくさんのご議論をいただきました。

補足であり、なおかつ強調ということなのですが、大きく2点ございました。

今回市民の方の意見を具体的に何らかの形で把握するということを目的にしていたのですが、概ね市が想定していたことと基本的な政策の方向性、例えば緑あふれるまちづくりであるとか、安全・安心とか、そういったものは基本的に市の考え方と市民の皆さん方、大体一致していたということがわかりました。

それともう1つ大きな成果としては、参加された方々がいろいろと知恵を出していただきながら市民としてどういったことができるのかということまで具体的に論じていただきましたので、行政のほうも市民との協働ということを一生懸命進めていける、そういう重要な情報を提供いただいたと考えております。したがって、行政としてもしっかりと意向を反映してこれからの政策展開につなげていっていただきたいと思います。

【会長】 ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明につきまして何かご質問、ご意見はございますか。よろしいでしょうか。

〈特に意見なし〉

4 基本構想(骨子)(目指すまちの姿、将来人口、将来都市構造)の確認

【会長】 4番目、基本構想(骨子)(目指すまちの姿、将来人口、将来都市構造)の確認ということで、これは前回ご議論いただいたのですが、おさらいの意味で確認をしていきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局資料説明>

- ・資料2 総合計画の構成
- ・資料3 第4次京田辺市総合計画基本構想(骨子)

【会長】 前回の確認ということですが、何かご質問はございますでしょうか。

〈特に意見なし〉

5 基本構想（基本姿勢・基本方向）の検討

【会長】 それでは、資料4の基本構想（基本姿勢・基本方向）の検討ということで、事務局からご説明をいただきたいと思います。

＜事務局資料説明＞

・資料4 基本姿勢・基本方向の検討資料

【会長】 どこからでも結構ですのでご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】 「安全で心安らぐ優しいまち」の一つ目の内容ですが、この中で地震や風水害、これが昨今地震もありましたし台風も来ましたということで、京田辺も安心なまちでありますけれども、自然災害に対しては市民の関心が強いところでございます。

ここで防災体制の強化ということも掲げておられますが、今地域で頑張っておりますのが地域防災活動の拠点となります自主防災会組織、これは要するに地震が起こった場合に行政機関が駆けつけてくれるまで3日間は地元で、共助で頑張れということで、各自治会を中心にして自主防災会組織を作っておるわけですが、今回の計画の中にぜひそれを入れていただいて、自主防災会組織の強化は地域の大きな仕事であろうということを明示することで、この組織が推進されていくのではないかと考えているところですので、ご検討をお願いします。

例えば第1の「防災・減災対策の強化や治水対策を推進するなど」、このところに「自主防災会組織を強化し、災害に強いまちをめざします」というような形はいかがでしょうか。

【事務局】 安全安心というところで自主防災会組織、現在、熱心にしていただいております。これはまさに今回の基本姿勢の中でも、まちづくりは当然行政だけではできないものではない、市民との協働でということに基づいた取り組みをしていただいているわけでございます。

ここの基本方向のほうには、大きい方向性を書いておりますので、委員がおっしゃっていただいたことは、当然総合計画の中では位置づけていかなければなりません、位置づける場所は、次の基本計画のほうで、しっかり位置づけをさせていただきたいと思います。

【委員】 「上下水道をはじめとした都市基盤の長寿命化など将来にわたってだれもが快適に暮らせるまちをめざします」と書いてありますが、現在、国のほうで水道の民営化の話が盛んに言われていて、将来は全面的に民営化をされるのではないかとことを言われています。

私は基本的には民営化は反対ですが、やはり命に関わる水のことですから、その辺はきちんと将来展望として明確に方向性を位置づけた書き方にしたほうがよいのではないのでしょうか。

【事務局】 今、国会で議論されている水道法の改正、中身的にはコンセッションなどの考え方

なのですが、現在、京田辺市では公営企業として運営しておりますが、国のほうでもどうなるかわかりませんが、我々としては現時点ではそういった方向は考えておりません。

【会長】 現在では民営化は特に考えていないということですね。

【委員】 まず1番の「安全で心安らぐ優しいまち」の2つ目の黒丸のところで、「交通事故や犯罪の少ないまちをめざします」とありますが、目指すからには「交通事故や犯罪がない」という表記の方がいいのではないのでしょうか。根絶は無理ですが、何をもって少ないか、少なければいいのかというところがありますので、目指すところは犯罪のないところと思います。

その次の丸ですが、「性別や価値観、国籍などにとらわれず」というところで、これは人権尊重の分野と思いますが、価値観というよりも性別、男女ですね、今は男女に関わらずということと、男女で区切れないところもありますので、そういう観点からも、性別、そして障がいをお持ちの方、また外国人という、それが大きな要素と思います。

また、性別や障がい者、国籍などにとらわれず、お互いを認め合い、「価値観」のところを、その次に多様性というふうに入れていただいて、「多様性を受け入れながら、だれもが安心して暮らせるまちをめざします」という表記にされることを望みます。

それと、(5)の「活力にみちた便利で快適なまち」というところですが、ここで書かれている中身で、雇用促進、勤労者福祉というところの方向性が書き切れていないのではないかと感じます。社会潮流として柔軟な働き方がしやすい環境整備とか、ダイバーシティの推進と書いていますので、企業さんにおいて、柔軟な働き方がしやすい環境整備、働きやすい、また働きがいのある環境整備、ダイバーシティの推進という視点を書き加えてはどうでしょうか。

【事務局】 今3点ご意見をいただきました。1つ目が、交通事故、犯罪について、目標としては、「ない」とすべきというご意見ですので、それを踏まえて検討いたします。

2つ目が人権尊重というところで、今ご意見をいただいた部分を踏まえ、事務局のほうでどのように入れていくかということも含めて検討いたします。

3つ目の活力というところで雇用の促進ということで、こちらのほう、新たに設けるのか、今ある文章を継ぎ足すのか、検討いたします。

【委員】 4番目の「子育てしやすく未来をはぐくむ文化薫るまち」で、「子どもが健やかに成長するまちをめざします」という、この「健やかに成長する」はとても大事だと思うんです。それで、「すべての子どもが健やかに成長するまち」にしたほうがいいと思いました。

それから、2行目に「地域全体で子育てを支え」はどちらかと言えば具体的な取り組みだと思しますので、「仕事との両立を支援するなど」の前に持ってきてはどうかと思います。

【事務局】 検討させていただきたいと思います。

【会長】 ほかによろしいでしょうか。

【委員】 方向性の柱の１～５の流れがどのような意図で流れているのか。それは３次計画を踏襲しているのか、ということが疑問に思いました。

どうしてかという、１の柱３つのポチで、自然、環境、人間と全体を読めるような気がしました。２でも自然と環境になって、それから３が高齢の人、４番目が若い人、最後に環境というふうに流れていって、それは重要な順なのか、現行を踏襲しているのか、あるいは人のところなども一般的には年齢順に若い方から高齢と行くけれど、重要度によって、３，４というふうにするのか、その辺にお考えがあればお聞かせください。

【事務局】 並び順につきましては、まず都市像として「緑豊かで健康な文化田園都市」、これを第４次総合計画においても継承するという決めでいただいております。

施策の柱につきましては、この都市像のワードを分解して、緑、健康、文化教育、田園都市という形で、４つのワードと、さらに市民アンケート・中学生アンケート、またワークショップ等々でも昨今の安全・安心の大切さというところが市民にとって非常に関心が高いということですので、４つのワードにプラス安全・安心を加え、５つの柱立てとしています。

その中でも、先ほど申しました一番関心の高い安全・安心を１番目に持ってきて、２番目以降は都市像を分解したワードの並び順というような形にさせていただいております。特にこちらのほうが重要だからこうだとかいう理由はありません。

【委員】 ありがとうございます。この上のキーワード順というのはわかりました。

緑というのが意外に早く出てくるのは、アンケートの加減ですか。わりと人間が先に出てくるという印象があるのですが、１番の包括的なものについてあって、２番が緑と全面に打ち出して、あとは人、人となっている、緑と人の順番の兼ね合いみたいなものはあまりないのですか。

【事務局】 都市像が「緑豊かで健康な文化田園都市」になっておりますので、それを順番にそれぞれキーワードを１つずつ取っている。本当は緑が１番で、健康が２番、３番目に文化、そして田園都市となるのですが、「緑豊かで健康な文化田園都市」という都市像が決められたときにはまだ日本では阪神淡路大震災とか東日本大震災、こういう非常に大きな自然災害を経験していないときでしたので、安心・安全というのを大きなテーマに持ってきています。

長らく京田辺が目指しています「緑豊かで健康な文化田園都市」、これをそれぞれのキーワードごとに分解して進めることによって確実にこの都市像の実現に近づけていけるということでこういう組み方になっているところでございます。

【委員】 緑って大事なんだと理解しました。

【委員】 緑が大事だから緑が最初に来ているというのではなくて、語呂合わせというか、京田辺のテーマですね。昔、原田さんのときに作られたテーマですね。

【会長】 その重要な順に都市像も並んでいると思います。ほかにございますか。

【委員】 (4)は「子育てしやすく」と、「子育て」が入ってきているのですが、(3)は「いきいき健康で明るいまち」ということで、これは高齢者までということを想定できるのですが、この中に全く「高齢者」という言葉も出てこなくて、京田辺はみんな若い人ばかりかというふうに全体を読んだら思います。

例えば「いきいき健康で明るいまち」の最初に「支え合いよる地域の絆を育むなど、だれもが健康で自分らしく」と書いてあるのですが、「いつまでもだれもが健康で」と入れたら100歳まで行けるかなと思ったりするのですが、どうでしょうか。

【事務局】 大変いいご意見をいただきましたので、それを参考に検討させていただきます。

【会長】 ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。よろしいでしょうか。

たくさんの貴重なご意見をいただきました。それらのご意見を踏まえて、事務局で再度、検討いただいて、次回の審議会でパブコメの前に案をご確認いただくことになります。

それでは、ご意見がないようですので、締めさせていただきます。今いただいたご意見に基づいて事務局のほうで修正、検討を進めていくことにしたいと思います。よろしいでしょうか。

〈特に意見等なし〉

【事務局】 会長、どうもありがとうございました。

次回の審議会は、2月7日の木曜日、午後2時からを予定しておりますので、よろしくお願いしたいと思います。それでは、最後に副市長からご挨拶を申し上げます。

6 副市長あいさつ

【副市長】 本日は長時間にわたりまして大変ご熱心にご議論いただきまして、まことにありがとうございました。

今日は基本姿勢、基本方向についてということでご審議をいただきましたが、先ほどもありましたように次回はパブリックコメントに向けまして基本構想の案のとりまとめをお願いしたいと思っております。今日いただきました意見をもとに、できるだけわかりやすく提示できるように事務局としても工夫していきたいと思っております。まちづくりの大きな方向性を決めていく大変重要な部分となっております。

今後とも皆様方の積極的なご審議を賜りますようによろしくお願いを申し上げまして、一言ご挨拶とさせていただきます。今日はありがとうございました。

7 閉会